

令和2年10月1日

RASS 理論に基づく吃音訓練を受けている患者さんへ 【訓練データの調査研究への使用のお願い】

目白大学耳科学研究所クリニックでは、「吃音のある子どもの早期改善に活用する PDCA 環境調整プログラムの開発」という臨床研究を行っています。この研究は、子どもから成人までの吃音のある方の改善過程を検証し、子どもの吃音の早期改善を促すプログラムを作成することを主な目的としています。そのため、下記の時期に言語訓練を受けた患者さんのカルテ等の訓練データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

- この研究は目白大学医学系研究倫理審査委員会で審査され、承認を受けて行われます。
研究期間: 令和2年9月～令和3年3月まで
対象調査期間: 令和元年5月～令和2年8月まで
- 今回の調査対象はこれまでに当院で言語聴覚士池田泰子が RASS 理論に基づく吃音訓練を行った患者さんの訓練記録です。氏名・住所・電話番号等の個人情報採取しません。
- 临床上に使用しているデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等ありません。
- 使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関して厳重に管理します。
- 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人の情報は守られます。
- 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は目白大学に帰属し、あなたには帰属しません。
- この調査研究は、科学研究費助成事業で行っており、特約の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんのでお手数ですが、下記の問い合わせ先まで連絡ください。また、同意の有無が今後の訓練において不利益を生じることはありません。

【問い合わせ先】

目白大学耳科学研究所クリニック 院長 伏木宏彰
研究責任者: 池田泰子(言語聴覚士)
電話: 048-797-3341 fax: 048-797-4187